

よくあるお問い合わせ

特注の継手をつくりたい

つなぎたい管のサイズ・材質、またはネジの規格、をお知らせください。1個から製作致します。

管の場合は、

- ① PTFEやPFAのようなある程度硬さのある樹脂管。
- ② ステンレスや硝子のような硬い管。
- ③ ゴム管のような弾力のあるもののいずれかによって、管の固定方法が異なります。

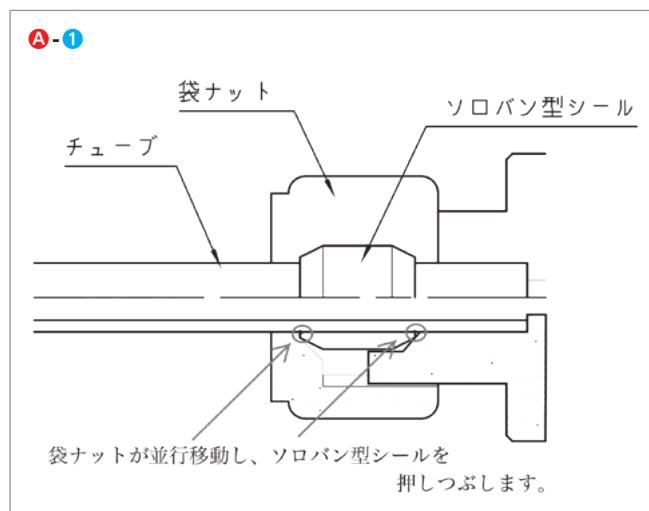
また、ネジの規格については、Rネジ、Rcネジ、NPTネジのようなテーパネジの場合は、規格呼び寸が分かれば製作できますが、GネジやMネジなどの平行ネジの場合は、ネジ山でシールが取れないため、受け側の形状の詳細情報が必要になり、基本はOリングやパッキンのシールになるため、Oリング材質のご指定も合わせてお願いします。

①を固定する場合は、

- ① ソロバン型シール (P.113:F-2090) による固定。
- ② ミゾ付フェルール (P.97:F-2206) による固定。
- ③ 高圧シール (P.113:F-2091) による固定があります。

A-1

①はチューブを差し込んで袋ナットを締め付けることで、ソロバン型シールが管の外径に食い込む「外径かしめ固定」です。チューブの肉厚が薄い場合には、PCTFE製のインサートを用いる (P.91:F-2318) 継手構造が必要になる場合がありますが、差し込んで締め付けるだけというシンプルな構造で、弊社製品の多くはこの構造です。特注サイズにも細かく対応可能ですが、製作可能な適用チューブ外径の最少は1.0φまでです。これより細いものは製作できません。

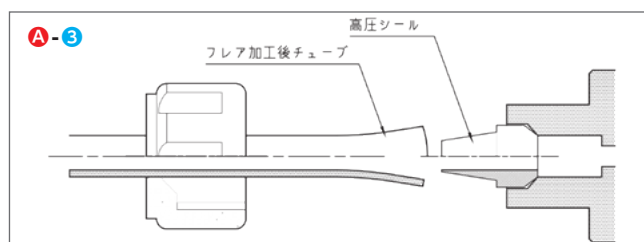


A-2

②はシールリングの内側に△山部が設けてあり、チューブの接続端をグルーピングカッター (F-2624) でVミゾ切処理 (P.97参照) し挿入することで、フェルールをチューブに固定出来るため、チューブの脱落防止に有効です。①が使用されている継手の同サイズに入れ替えて使用できますが、カッターのサイズが限定されているため、規格外のサイズには使用できません。

A-3

③はチューブの接続端をフレアに加工する必要があります。フレア加工後のチューブ内壁が高圧シールのテーパ部にあたり、袋ナットの内径部とで挟み込んで固定されます。①が使用されている継手の同サイズに入れ替えて使用ができますが、熱処理をとまなうフレア加工をお客様にて行っていただく必要があるため、接続の難易度が高い方法です。規格外サイズの製作もできます。



①～③は継手本体が流用可能ですので、各種シール部品を用途に応じて換装し、ご利用いただけます。

接続方法の種類

接式略号	シール方法呼称	シール部品	
		掲載頁	商品コード
A-1	ソロバン型シール	P.113	F-2090
A-2	ミゾ付フェルール	P.97	F-2206
A-3	高圧シール	P.113	F-2091

上記3種は継手本体の構造が共通のため、状況に応じて、シール部品を換装して使用可能です。

A-1に似た「外径かしめ固定」の継手としては、P.122のW・フィッティングコネクターシリーズ (D) やフロウエル 30シリーズなどがあります (P.164～167参照)。

また、高温・高圧で使用される場合は、P.157のスーパー 300タイプピラーフィッティング®Pシリーズ (E) や、フロウエル 80シリーズ (P.168～) が推奨されます。

Bを固定する場合は、スリーシール式 (P.98参照) が推奨固定方法になります。A-1の方法でも接続可能ですが、樹脂管と違い、ソロバン型シールが外径に食い込まないため、固定感が弱くお勧めできません。圧力がかからない簡易的な固定目的であれば、使用可能です。

Cゴム管のような弾力がある管の場合は、タケノコ形状のものを管の内径に圧入し、外径をホースバンドなどで締め付け固定する方法が一般的です。ゴム管の材質や肉厚によって固定感が変わりますので、タケノコ部の外径寸法についてはご指定ください。フッ素樹脂製のタケノコ部は金属などと違いある程度の肉厚が必要になるため、タケノコ部の内径はゴム管よりも狭くなりますので、予めご了承ください。弊社で製作可能な最少タケノコ外径は3φです (P.84参照)。

接式略号	シール方法呼称	継手掲載頁
B	スリーシール式	P.98・99
C	タケノコ式	P.84以降各所
D	W・フィッティング	P.122～
E	ピラースーパー 300	P.157～

接式略号	接続端呼称
F	単管出しまたはチューブ出し
G	ネジ式
H	共通摺合せ (S)
I	パネル固定またはフランジ出し

各種継手・バルブ掲載ページに接式略号を記載してありますので、継手選定の際に、ご確認ください。